

■ 暑中お見舞い申し上げます



皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は、暑さと電力不足で不安を抱えていましたが、7月下旬頃から暑さが和らぎ少しホッとしていることと存じます。近所のお祭りや花火大会の賑やかな声や音が聴こえるとなんだか夏を楽しみたいくなります。旅行や研修会などでリフレッシュを図りながら、楽しい夏をお過ごしください。さて、本号では、先日の総会で報告された昨年度の活動報告および今年度の活動計画についてお知らせさせていただきます。

■ 目次

- 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告
- 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告
- 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画
- 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 決算報告
- 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案
- 第1回 東京支部資格更新研修会報告
- 東京支部役員会報告
- 事務局より



■ 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告

- 日 時： 2011年6月26日(日) 12:00~12:30
- 場 所： 日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

以下の事項についての報告・審議が行われた。

司会の開会宣言の後、市川氏が議長として選出された。東事務局長より定足数の確認が行われ、参加者124名と委任状217名をあわせ、会員704名の4分の1の定足数を満たしたため、総会成立との旨の報告があった。

初めに、報告事項として竹谷支部長より2010年度の活動について報告があった。その後、菊地会計より2010年度の決算が報告され、会計監査上野氏・加茂氏より「相違ない」と監査報告がなされた。

次に、審議事項として、竹谷支部長より、2011年度の活動計画と2011年度の予算が提案され、承認された。2011年度の役員と会計監査は、下記の通りと紹介があった。

支部長：竹谷志保子、副支部長・幹事：須田治、副支部長：川間健之介、事務局：東敦子、
会計：菊地真由美、加藤弘美、研修：宇賀神るり子、小野里美帆、原恵子、大倉滋之、
山中ともえ、高橋道子、佐島毅、支援学校巡回：黒田美保、文京区巡回：松村裕美、特別支援
NW：田中雅子、正田康恵、大隈幸子、菅原眞弓、子育て支援NW：河島恵美子、坪井寿子
ニュースレター：中内麻美、小堀あゆみ
会計監査：上野道子、加茂るりゑ

議事終了後、議長の解任がなされ、閉会となった。

■ 2010 年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告

1. 総会の実施

規定に基づき、2010 年 5 月 30 日（日）、「日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場」にて総会を開催し、2010 年度の活動計画と予算を決定した。

2. 研修会・研究会等の開催

〈表 1〉の計画に沿って、研修会を開催した。

〈表 1〉 2010 年度研修内容一覧

研修会	日程
東京支部資格更新研修会 第1回	2010 年 5 月 30 日(日)
第2回	2010 年 11 月 14 日(日)
子育て・発達支援ネットワーク研修(2回)	2010 年 5 月 30 日(日) 2011 年 1 月 29 日(日)
特別支援教育ネットワーク研修(3回)	2010 年 5 月 30 日(日) 2010 年 8 月 22 日(日) 2011 年 1 月 23 日(日)
発達臨床研究ネットワーク(2回)	2010 年 5 月 30 日(日) 2011 年 2 月 27 日(日)
文京区巡回相談研修会(3回)	2010 年 5 月 31 日(日) 2010 年 11 月 28 日(日) 2011 年 3 月 11 日(金)未実施
高等学校・特別支援学校巡回相談研修会(2回)	2010 年 4 月 18 日(日) 2011 年 3 月 6 日(日)

3. 特別支援教育事業への協力（職域開発）

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置した。

1) 文京区巡回相談

対象校：小学校 20 校、中学校 10 校 巡回担当者：14 名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

2) 都立特別支援学校（職業技術科）への配置

対象校：2 校（永福学園・継続 350 時間、青峰学園・新規 120 時間） 担当者：5 名

3) 都立高等学校巡回相談

対象校：11 校 巡回担当者：12 名 配置時間：332 時間

4) 文部科学省「高等学校における発達障害支援モデル事業」

対象校：都立足立東高等学校 担当者：1 名

4. ネットワーク研修会

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めた。

(ア) 特別支援教育ネットワーク

特別支援教育に関わる教員を中心としたネットワークグループ。

(イ) 子育て・発達支援ネットワーク

乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク。

(ウ) 発達臨床研究ネットワーク

発達臨床研究に携わる研究者を中心としたネットワーク。

5. ニュースレターの発行とホームページの運営

ニュースレターを年2回発行した。

同様の内容をホームページにて掲載し、研修会のお知らせなどはタイムリーに会員へメール連絡を行った。掲示板では、研修会案内のほか、会員専用掲示板にて会員同士の情報交換をおこなっている。

6. 支部会費の徴収

2010年度より、本部に全国会費と支部会費が一括納入された後に配分される方法となった。

7. 東日本震災支援本部への協力

会長：竹谷志保子、副会長：須田治、事務局：東敦子の3名が東日本震災支援本部運営委員として会議に出席した。

東京支部HPにおいて震災支援専用掲示板を設置し、避難者受け入れ地（東京武道館、味の素スタジアム）の状況確認を行った。

ボランティアを募集し、日帰り支援では70名、現地ステイ支援では7名の登録があった。

8. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に出席し、情報共有、発信、提案等を行った。

■ 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画

1. 総会の実施

規定に基づき、2011年6月26日（日）、総会を開催（日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場）し、2011年度の活動計画と予算を決定する。

2. 研修会・研究会等の開催

<表2>の計画に沿って研修会を開催する。

3. 特別支援教育事業への協力

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置する。

1) 文京区巡回相談

対象校：小学校20校、中学校10校 巡回担当者 14名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

2) 都立特別支援学校（就業技術科）への配置

対象校：2校（永福学園350時間・青峰学園140時間） 担当者5名

3) 都立高等学校巡回相談

対象校：11校 巡回担当者 10名 配置時間 332時間

継続…大江戸、六本木、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真、浅草、新宿山吹、
蔵前工業、科学技術

新規…五日市

4. ネットワーク作り

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めていくため、引き続き下記のネットワーク活動（主として研修会）を行う。

(ア) 特別支援教育ネットワーク

特別支援教育に関わる教員を中心としたネットワークグループ。

(イ) 子育て・発達支援ネットワーク

乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク。

(ウ) 発達臨床研究ネットワーク

発達臨床研究に携わる研究者を中心としたネットワーク。

5. ニュースレターの発行

ニュースレターをホームページ上に年2回発行し、支部の活動報告や研修予定などを伝えていく。郵送は行わず、メールによる周知のみ行なう。

6. ホームページの運営

2009年度開設した東京支部のホームページの機能を高め、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、被災地支援の状況報告やスタッフ募集、ニュースレターの閲覧などができるようにしていく。

7. 東日本大震災の災害支援（東京びえろプロジェクト）

1) 東北支部の災害対策への協力

東北支部と連絡を取り合いながら、東北支部（特に支部連携のペアとなっている宮城県）の災害対策に協力していく。

- ・支援スタッフの派遣
- ・情報共有、支援スタッフ養成のための研修会の企画と実施
- ・その他、支援に関わる必要な活動

2) 臨床発達心理士会東日本支援対策本部に委員として参加し、災害対策支援を行う。

8. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に出席し、情報共有、発信、提案等を行っていく。

<表2> 2011年度研修内容一覧

研修会	日程
東京支部資格更新研修会（2回）	第1回 2011年6月26日（日）
	第2回 2011年11月27日（日）
特別支援教育ネットワーク研修（3回）	第1回 2011年6月26日（日）
	第2回 2011年11月27日（日）
	第3回 2012年1月8日（日）
子育て・発達支援ネットワーク研修（2回）	第1回 2011年6月26日（日）
	第2回 2012年1月（予定）
発達臨床研究ネットワーク研修（2回）	第1回 2011年6月26日（日）
	第2回 2011年12月18日（予定）
文京区巡回相談研修会（3回） （担当者研修）	第1回 2011年6月28日（火）
	第2回 未定
	第3回 未定
高等学校・特別支援学校巡回相談研修会（2回） （担当者研修）	第1回 未定
	第2回 未定
災害対策研修会	第1回 2011年4月10日（日）
	第2回 2011年10月（予定）
その他 必要な研修	

9. 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 会計決算報告

会計期間: 2010年4月1日～2011年3月31日

(単位: 円)

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減
1. 2010年度支部会費	1,230,000	1,128,000	-102,000
2. 2009年度支部会費	160,000	144,000	-16,000
3. 支部研修参加費(NW研修受講費を含む)	180,000	270,000	90,000
4. ゆうちょ銀行利子	0	221	221
5. 前年度繰越金	693,639	693,639	0
合計	2,263,639	2,235,860	-27,779

【支出の部】

1. 研修会 運営費	a. 支部研修会(2回3講義)	会場費	50,000	0	50,000
		講師謝礼	96,000	86,000	10,000
		運営費	10,000	6,185	3,815
	b. 特別支援教育NW研修会(3回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	31,140	32,860
		運営費	5,000	11,686	-6,686
	c. 発達支援NW研修会(3回)	会場費	10,000	0	10,000
		講師謝礼	32,000	17,000	15,000
		運営費	5,000	2,163	2,837
	d. 発達臨床研究NW(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	42,000	22,000
		運営費	5,000	200	4,800
	e. 文京区巡回相談研修会(3回)	会場費	5,000	4,500	500
		運営費	5,000	0	5,000
	f. 特別支援学校・高等学校 巡回相談研修会(3回)	会場費	5,000	2,800	2,200
		運営費	5,000	4,000	1,000
	2. 事務局運営費	PCソフト代	40,000	13,980	26,020
		事務アルバイト	300,000	50,000	250,000
3. HP運営費		300,000	214,347	85,653	
4. ニュースレター発行費(2回)		400,000	63,970	336,030	
5. 通信費		130,000	9,530	120,470	
6. 印刷代		100,000	9,948	90,052	
7. 会議費		90,000	48,900	41,100	
8. 事務用品/備品		50,000	8,564	41,436	
9. 2009年度支部費返金(三重払い)		0	8,000	-8,000	
支出合計		1,811,000	634,913	1,176,087	
10. 予備費		452,639	0	452,639	
総計		2,263,639	634,913	1,628,726	

差引残高 1,600,947 円は2011年度東京支部への繰り越し金といたします。

以上、ご報告いたします。

2011年6月26日

日本臨床発達心理士会東京支部
支部長 竹谷 志保子
事務局長 東 敦子

会計監査の結果、適正に処理されていた
ことを認めます。

会計監査

加茂るりゑ
上野道子

10. 2011 年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案

【収入の部】

摘要		備考・内訳
2011年度支部会費	1,408,000	2,000円×704名(6/20現在)
2010年度以前支部会費	118,000	未納者59名 2,000円×59名(3/31時点)
支部研修参加費	0	無料×220名
前年度繰越金	1,600,947	2010年度決算より
A: 収入総計	3,126,947	

【支出の部】

摘要		備考・内訳	
研修会運営費	574,000	支部研修会(2回2講義)	会場費 50,000
		32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000
			運営費 10,000
		特別支援教育NW研修会(3回)	会場費 20,000
		32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000
			運営費 10,000
		発達支援NW研修会(3回)	会場費 20,000
32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000		
	運営費 10,000		
発達臨床研究NW(2回)	会場費 20,000		
32,000×4人 講師謝礼・交通費	128,000		
	運営費 10,000		
特別支援学校・高等学校巡回相談研修会(2回)	会場費 20,000		
32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000		
	運営費 10,000		
文京区巡回相談研修会(3回)	会場費 5,000		
	運営費 5,000		
東京ピエロプロジェクト運営費 (東日本大震災災害対策支援費)	446,000	研修会(4回) 会場費 40,000	
		15,000×6人+30,000×2人 講師謝礼 150,000	
		22,000×6人+2,000×2人 講師交通費 136,000	
		運営費 20,000	
		その他(ボランティア登録費、事務費、会議費等) 100,000	
事務局運営費	400,000	PCソフト代・メインテナンス等 40,000	
		事務アルバイト代等 30,000×12ヶ月 360,000	
HP運営費	350,000	運営・通信費等(4,980×12+α)	
通信費	120,000	会員への研修案内(80×704×2)、事務書類発送等(80×50+α)	
印刷代	120,000	総会資料、役員会資料、研修会資料等	
会議費	90,000	役員交通費(2000×15人×3回)2回は交通費無し	
事務用品/備品	80,000	会計印、記録保存・整理用USB、ファイル等	
B: 支出合計	2,180,000		
C: 予備費	946,947	予備費、2012年度前期運営費	
D: 残高	0		

■ 第1回 東京支部資格更新研修会報告

●日時：2011年6月26日（日）

●会場：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

●研修1 午前の部（9:30～12:00）

A：臨床発達研究ネットワーク 2011年度第1回研修会報告

テーマ「発達臨床における質的研究をどうすすめるか」

講師：箕浦康子氏（お茶の水女子大学 名誉教授）

話題提供：本郷美奈子氏（のぞみ発達クリニック）

フィールドワーク研究において、まずは現象をありのままに「見る」ということが新しい仮説を発見していく上でのスタートになる。そのためには何をテーマに「見る」のか？その設定によって、何をどのように観察し、記録するかの方法が決定される。テーマの持ち方によって、切り口も拾われるコンテンツも異なる。

これらのことを体験的に学ぶために、話題提供者の提示したある臨床場面をグループ単位で話し合いながら観察し、テーマの共有と観察後の話し合いをおこなった。

各グループ毎に提案されたテーマは様々であり、「指導者の使用することばについて」「指導者と子どもとの間のやりとりについて」「いきいきと学ぶとはどういうことか？」など様々なテーマが提案された。本郷氏は「指導者と子どもとの関係性について」をテーマとし、誤解したり、それを調整しようとしたりするやりとりを抽出して分析をおこなった。

臨床実践から新しい知見を見出していくためにも、質的研究を臨床発達研究の俎上にのせていくことの可能性について議論された。

B：子育て・発達支援ネットワーク 2011年度第1回研修会報告

テーマ：「地域の中での子育て」

～地域資源の活用と連携、移行支援、就学前後の支援を通して考えよう～

話題提供：金上容子氏（子ども発達扇橋センター）有資格者

金上氏より、子ども発達扇橋センターでの就学支援のシステムと具体的な事例について紹介をいただいた後、今後、必要とされるシステムや就学支援にあたっての心理士としての視点について話題提供いただいた。その後、話題提供を受け、全体のディスカッションを行い、就学支援から発展して障害発達支援を考える重要性などについての意見が出された。

後半の情報交換会では、4グループに分かれて、それぞれの地域での支援体制の違いや仕事をしている立場や役割による視点の違いなど、いろいろな側面から情報交換がなされた。

C：特別支援教育ネットワーク 2011年度第1回研修会報告

テーマ：「特別支援教育の今後について考えるpart2」

話題提供：

① 朝日滋也氏（東京都教育庁指導部 特別支援学校教育担当課長）

「東京都特別支援教育第3次推進計画概要説明 及び 臨床発達心理士に期待すること」

② 正田康恵氏（東京都立武蔵台特別支援学校 特別支援教育コーディネーター）「特別支援学校のセンター的機能を活用した就学相談支援」

③ 菅原真弓氏（立川市立第七小学校 通級指導学級あすなろ学級担任）「発達障害の児童・生徒への指導内容、指導方法の工夫～通級指導学級の役割～」

今回は、東京都特別支援教育第3次推進計画について朝日滋也氏から説明いただき、推進計画を実践している立場の特別支援学校と通級指導学級の現場から話題提供した。「わかりやすい説明」「実践的な話も聞けてよかった」と参加者からは好評だったが、「もう少し時間がほしい」との声も多かった。毎回NW研修で取り組んでいるグループ討議は時間がなく今回できなかった。朝日氏に対しては、情緒通級の教員（中学校2名、小学校1名）から「中学校の通級について」「取り出し指導について」「情緒通級の指導書について」など具体的な実践内容について質問が出された。

●研修2 午後の部 (13:30~16:30)

テーマ：「障害児支援の改革動向

ー平成22年12月改正児童福祉法と子ども・子育て新システムを見据えてー」

講師： 柏女霊峰 氏（淑徳大学総合福祉学部教授・同大学院教授）

自立支援法から総合福祉法への動きと総合福祉法の概要、さらに、子ども・子育てビジョンの理念と子ども・子育て新システムの基本構想に関する最新情報についてご講義いただいた。講義を通して、本来は児童福祉法と同様の保障を必要とするべき障害児支援であるが、総合福祉法と子ども・子育て新システム構想が別々に議論されていることに象徴されるように、障害者福祉や家庭福祉に比べ、障害児福祉領域は、法整備、研究共に非常に遅れている現状を認識することができた。講師からは、今回の改正の方向性を踏まえたうえで臨床発達心理士の役割（就学前児に関わるケアマネージャーの基礎資格や研修等）について提案があり、就学前教育の質の保障のありかた等々について議論が行われた。未整備である日本の法律について知識を持つと主に、臨床発達心理士の専門性について明確に自覚し、法整備を促進していくべく実践や研究を蓄積することの必要性について多くの示唆を得た研修であった。

※参加費用については、企画段階では1000円を予定していたが、前年度予算の残高余剰があるため、当該講習会直前に行われた総会にて了承をとり、支部会員については、無料とした。

研修会についてのアンケートの集計結果ー参加者数、研修会に対する満足度、感想、要望について

非常に満足・・・ 32人

おおむね満足・・・ 50人

やや不満・・・ 3人

大いに不満・・・ 0人

計85名（参加者 148名）

1) 主な意見

- ・難しい法律が身近に感じられ、これまで？だった部分が自分の中でたくさん解決した。ものすごく、複雑に入り組んだ法的整備の話をわかりやすく教えていただけた。法律がすべて土台になるとよくわかった。
- ・初めて聞く分野の話だったのでとても興味深く勉強になったのですが、不勉強なため難しく感じる部分もあり、もう一度持ち帰って確認したいと思う。
- ・これからの制度の動向についてわかりやすいご説明だった。
- ・難しい内容でしたが、流れを具体的に説明いただき、ありがたかった。
- ・制度、法について知らなかったことが多々あり、整理された形で話してもらい勉強になった。
- ・難しくてよくわからなかった。もっと実践的な内容を学びたい。
- ・教育界では何う機会のない内容かつ知っておくべき内容で、この団体ならではの内容でした。

2) 今後研修に取り上げてほしいテーマ（要望）

- ・各種検査について ・感覚統合 ・遺伝的研究 ・重度の方への支援 ・2次障害による不登校への支援
- ・思春期・青年期 ・高校の現状と就労 ・高校進学への支援 ・生活支援 ・地域ネットワークの構築
- ・社会参加 ・センター校としての特別支援学校の役割 ・通常級での特別支援 ・支援会議
- ・他職種での連携 ・医師からの話 ・法律家からの話 ・発達障害と犯罪 ・情動

■ 東京支部役員会報告

■日 時：2011年6月26日

■場 所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

■出席者：須田、竹谷、東、菊地、加藤、坪井、中内、小堀、高橋、田中、大隈、松村、菅原、宇賀神、原、山中、小野里、

1) 2011年度の活動計画

①第2回資格更新研修会

2011年11月27日(日)

9:30-12:30 齊藤万比古先生 「発達障害からおきる二次障害とその支援」

14:00-17:00 特別支援教育NW

関係者(巡回している都立高等学校教員など)に公開する

②災害支援研修会(東京支部)

宮城県会員のバックアップ

ケア宮城のノウハウを学ぶための研修会を東京支部で主催する

目的: ファシリテーターの養成および現地の様子を学び伝える

③2012年度全国大会を東京支部で開催する旨についての検討

2) 役員改選

2012年度支部長、副支部長、会計監査の選出のために、選挙管理委員会(3名)を決定し、準備する。

■ 事務局より

● ネットワーク活動について

(1) 3つのネットワーク

東京支部には現在以下の3つのネットワークがあります。活動内容はホームページ上の掲示板にて随時ご紹介していきますのでご覧ください。第1回ネットワーク研修会は6月26日に終了し、第2回目以降は、以下のスケジュールを予定しています。今後のネットワーク研修会のご案内は、ホームページへの掲載とメール配信によつてのみ行い、郵送は致しませんので、ご了承ください。

① 発達臨床研究ネットワーク(12月18日予定)

対象: 研究者や実践研究を目指す臨床家など

世話人: 須田治・東敦子

② 子育て・発達支援ネットワーク(1月予定)

対象: 保育園・幼稚園等の巡回、健診、療育などに携わる人

世話人: 河島恵美子・小堀あゆみ・河合真紀子・坪井寿子

③ 特別支援教育ネットワーク(11月27日・1月8日)

対象: 学校現場で特別支援教育に携わる人

世話人: 田中雅子・正田康恵・大隈幸子・菅原真弓

(2) ネットワークメンバーの登録

ネットワークメンバーは、メンバーリストを使って、研修会の準備や情報交換などを行っていきます。複数のネットワークにメンバー登録できますが、研修会の参加はメンバー登録をしていなくても可能です。メンバーは講師の話を受動的に聞くのではなく、自らの実践報告を積極的に発信していただきたいと思います。また、ネットワーク掲示板にて研修会や会員の活動の様子などを支部会員に向けて発信してください。

メンバー登録は第1回ネットワーク研修会において受付をすでに開始していますが、ご希望の方は事務局までご連絡ください(jimu@jocdp-tokyo.net)。

(4) ニュースレターについて

ホームページ閲覧による配信を基本としていきます。アドレス登録者にはメールで配信しますので、まだ登録されていない方は至急登録をお願いします。総会の決定により、郵送はいたしません。

(5) 掲示板について

ホームページに会員専用の以下の4つの掲示板を設置していますので、ご活用ください。

会員のひろば（従来の掲示板）

特別支援教育NW

子育て・発達支援NW

発達臨床研究NW

*パスワードは、メールにてお知らせいたします。

- 東京支部HPよりメールアドレスの登録をお願いします。 <http://www.jocdp-tokyo.net>
- 連絡先：東京支部事務局・東 敦子（のぞみ発達クリニック） jimu@jocdp-tokyo.net



東京支部ニュースレター2011年度2号(通巻14号) 2011.8発行
編集:小堀あゆみ・中内麻美(NL担当)